

多読クラブ会員様へ

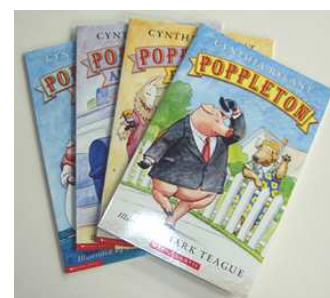
書籍追加のお知らせと次期会費ご納入のお願い

今回の追加図書は、会員様からのリクエストとやさしめの学習用児童書 (Leveled Readers) が中心です。「ぜひ読んでみたい」と思われる本がありましたら、教室受付までご連絡ください。取り置きいたします。

●Poppleton シリーズ YL : 1.1 総語数 : 810

シティーライフが嫌になった、ぶたの Poppleton は小さな町の小さなお家にお引っ越し。小さなお庭で野菜を作ります。お隣りさんのやぎの Cherry と仲良しになりましたが、毎日お食事に呼ばれるのもだんだんつらくなって。。。という Poppleton のタウンライフ始まり編と図書館編・お友達にお菓子を飲ませる編の3つ短編に分かれています。お昼寝・読書・美味しいもの大好きなぶたさんを主人公にして、ますます まったり としたひとときを過ごさせてくれます。

ほか3冊。このシリーズはSSS学会でもよく取り上げられる、評判の高いものです。



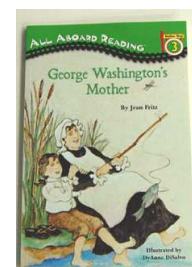
Poppleton and Friends YL : 1.1 総語数 : 810

Poppleton Everyday YL : 1.2 総語数 : 680

Poppleton Forever YL : 1.2 総語数 : 680

●George Washington's Mother YL : 2.5 総語数 : 2,140

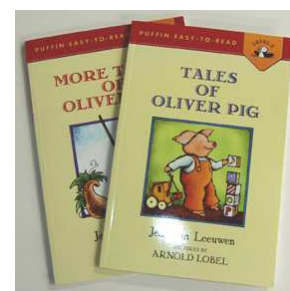
アメリカ大統領 George Washington とそのお母さんの物語。Washington 成功のかけにはいつも、彼を心配し、見守ったおかあさんの存在があったのです。GRのような文で読みやすい。



Puffin Easy-To-Read シリーズから7冊 (なぜか豚シリーズになってしまった。)

●Tales of Oliver Pig YL : 1.4 総語数 : 1,637

今日は雨。ぶたの Oliver くんはお外で遊べません。それでかあさんのクッキー作りを手伝うことに。妹ぶたの Amanda ちゃんは粉まみれになっちゃいましたけど、美味しい匂いがして、かあさんもいるし、Amanda もいるし、部屋の中は暖かいし、Oliver くんはほのぼの~としあわせです。Arnold Lobel の可愛いイラストによる、ぶたの Oliver の短いお話が5篇。Oliver くんも Amanda ちゃんも、ときどき意地悪になったり、好き嫌いを言ったりしますが、ゆったりとしたかあさんと、ユーモアのあるとうさんと、やさしいおばあちゃんにかこまれた生活の中で、ちゃんと良い子に戻ります。



●More Tales of Oliver Pig YL : 1.4 総語数 : 2,500

●Amanda Pig and Her Big Brother Oliver YL : 1.3 総語数 : 1,300

●Amanda Pig on Her Own YL : 1.3 総語数 : 1,100

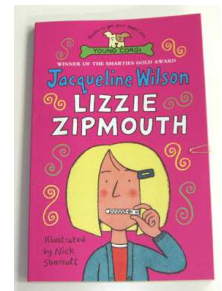
●Amanda Pig, Schoolgirl YL : 1.3 総語数 : 1,300

●Amanda Pig and Her Best Friend Lollipop YL : 1.2 総語数 : 1,400



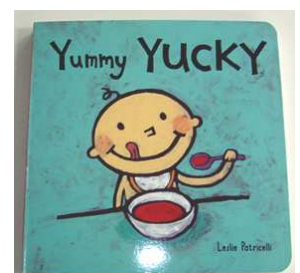
●Lizzie Zipmouth YL : 3.3 総語数 : 7,000

Jacqueline Wilson 作。リジーの母親が2度目の再婚をすることになりました。相手のサムは優しい男性です。でも、サムもしばらくすればきっとリジーを怒鳴りつけ、つらくあたるに違いないと、リジーは固く信じています。リジーは絶対に口をきかないことを決意します。どんなに機嫌をとられても口を開きません。しかし、サムのおばあさんの家へいったとき、リジーに変化が起こります。イギリス口語で書かれているので、知らない言い回しにとまどうかもしれませんが、可愛いイラストがたくさんあり、絵で分かる部分も多くあります。話の流れに乗りやすい本です。登場人物はいい人ばかりでリジーの語り口もやさしく、心温まる本です。ジャクリン・ウィルソンの本のカバーはご覧のとおり、どぎついカラー使いが多く、一目でそれとわかりますね。中でもこれはわりとやさしめの部類に入ります。



●Yummy Yucky (絵本)

おいしくないとわかっていても、好奇心からどんな味だろう? と思うものはたくさんある。そんな怖くて口にできないものにあえて挑戦してくれるのがこの本の赤ちゃんだ。たとえば、スパゲティが“Yummy”=おいしいのは当たり前。だけど、ミミズは“Yucky”=おいしくない。左右対称に、おいしい食べ物とおいしくない食べ物に挑戦する赤ちゃんの姿がある。いやーでもね、ミミズと鼻くそは、やりすぎなんじゃないの?と、私は思いました。この本、ご覧のとおり全体的にススだらけですが、もともと印刷されているものですのでご安心ください。



編集後記

「飽き」は多読の最強の敵。多読を始めて、1年以上になる人。当初の目標であった100万語を達成した人。最近ペースが落ちてきている人。この多読法を始めた人は誰でも停滞期があるものです。そんな時、どう乗り越えるのか? SSSのお勧めは「掲示板」の利用です。でも、それほどインターネットを身近に感じられない方には、「今日から読みます100万語」の再読をお勧めします。この本は「掲示板」の投稿記事が多く掲載されており、いまだによく売れているそうです。私自身は毎週木曜のSSSのメルマガに大いに触発されております。多読は一人で黙々とやっていると、たいてい長続きしません。いろんなところから刺激を受けながら、自分にあったスタイルを見つけましょう。やっぱり、お気に入りの作家やシリーズに出会えるかどうか、多読の成否に大きくかわるでしょう。どうしても面白くない、何を読んでも苦痛。。。そんな時は一旦お休み(中断)するのも手でしょうね。SSS掲示板には中断期間をはさんで100万語とか300万語とかを通過されている報告がたくさんあります。

3月に習志野台で行われた酒井先生の多読講演会DVDはご希望の方には差し上げますので、お申し出ください。もう一度見ると、また元気がでるかもしれません。

これからジメジメした日々が多くなりそうですが、それでも Happy Reading.